

令和二年度 岡山大学 国語

問題一

問一	ア	検討	イ	排除	ウ	規範	エ	純粋
問二	A	というのも	B	それゆえ				
問三	D	むしろ積極的に考慮に入れるべき	C	無視すべき要素				
問四	我々は偶然と思われた出来事を必然だと捉えたり、逆にそれを偶然のまま捉えたりするけれども、その引き受け方自体はどんな可能性も排除しないから。							
問五	偶然性・必然性という両義性・曖昧性を含むものである運を、人生の理想や予想を裏切り、秩序や安定を乱す要素として排除することなく、我々の生き方の個別性と複雑性を反映したものと引き受けらるること。							

問題二

問一	A	胸	B	唇	C	耳	
問二	セイと二人きりで山行きをしたために友達を誘わず、誘われても同行を避けていたのに、数人の山友だから不意に近くで名前を呼ばれたから。						
問三	山友だから二人の仲をからかうようなことを言われて困惑し、岩助と二人きりにならないようにしようとしたに違いないと考えている。						
問四	二人の仲をひやかす落書を必死で消しているセイの姿を住職に見られて感心されたことに、皮肉な滑稽さを感じるとともに、この事態にどう対処したらよいかわからず途方に暮れている。						
問五	校長は、落書の内容が岩助とセイの仲を揶揄するもので、消しているのが当事者のセイであることを知らず、善行だと誤解して褒め続けたが、事情を知っている生徒たちはもう一人の当事者である岩助のことも嘲り笑っているということ。						

令和二年度 岡山大学 国語

問題三

問一	A	女君	少将の君(男君)	和泉殿
	B			
問二	ア	大層美しい様子である	イ	少し召し上がって横におなりになった
	ウ	なんとかして差し上げる方法があればなあ		
問三	エ	なんとかして(あなたに添う影に)なりたいたいものを		
		食事の用意など十分には出来そうもないはずなのに、お粥をたいそう美しく整え、手洗いの水も揃えて差し上げたから。		
問四		いただいたものへの感謝を述べ、長期間の方違えをする客人が滞在するので、餅や菓子、たらい、半挿などを用意していただきたいということ。		
問五		「あなたの影のように一緒にになりたい」という少将の歌に対して、女君は「わが身を離れない影も、澄んだ鏡にむなく映る影のようなものだから、あなたの心もはかなく他の女性に移ると思うと悲しい」と答えている。		

問題四

問一		すでにわこくのことをのぶ。
問二		日本についての記録を書き残すことができなかった。
問三		日本についての情報は昔から伝聞で根拠が無いものが多く、しかも知識としては吾妻鏡の一部しかないような士大夫は、そもそも日本を訪れることがなく、たとえ訪れたとしても吾妻鏡を読まず、日本についての知識はでたらめで、真の日本を知らないのも当然だと思ったから。
問四	一 (衣帯水)	
		日本と中国とは海を挟んで相対しており、きわめて近接しているということ。
問五		日本と中国は非常に近接しており、昔から交流があるにもかかわらず、中国をよく知り、中国に関する記録を多く残した日本とは異なり、中国は日本について一笑に付すほどのでたらめな記録しか残していないのは非常に嘆かわしく残念であるから。

